普及活動情勢報告（平成 27 年２月分）

安芸農業振興センター

情勢報告

今年もオクラ栽培が始まります　～中芸オクラ部会栽培講習会～

「播種機の使用方法実演中
（これで省力できると楽だけどうまくいくかな？）」

１月 21～23 日に中芸集出荷場研究会オクラ部会は栽培講習会を地区毎に開催し、部員 52 人の参加がありました。

振興センターからは昨年の生育不良状況調査結果の報告と JA 土佐香美での視察研修内容を交えて栽培初期のポイント（発芽率向上と寒波対策）について説明しました。また、短期暴露評価導入に伴う農薬の登録内容変更について注意を呼びかけました。

JA 土佐あきからは栽培暦の改正点の説明と生分解性マルチや新規登録薬剤の紹介がありました。

振興センターは、今後も現地検討会や勉強会での技術情報提供等を通じて部会活動を支援します。

吉良川集出荷場ナス部会視察研修開催

オランダ式温度管理ってどういうこと？

１月 27 日、吉良川集出荷場ナス部会は安芸市ナス栽培ほ場と農業技術センターで視察研修を行いました。5 人の参加者には、実証ほで炭酸ガス発生装置を導入している生産者が 1 人、平成 27 年から導入する生産者 3 人が含まれ、ナスの環境制御技術の最新情報について熱心に学びました。特に農業技術センターでは簡単な温度管理で樹勢に変化がつけられることを学び、「うちでも取り入れてみたい」といった声が聞かれました。

振興センターは今後、さらに環境制御技術に取り組む生産者の拡大を目指して、現地検討会を含めた勉強会を開催し情報提供を行います。

JA 土佐あき安芸支部トルコギキョウ部会が芸西村生産者との現地検討会を開催

熱心に質問する安芸の生産者

１月 29 日、安芸支部トルコギキョウ部会から「先進地の整枝方法を学びたい」との要望を受け、振興センターが、芸西村のトルコギキョウ生産者 2 名に働きかけ、整枝方法について現地検討会を行いました。

生産者からは「切り花のボリュームをとるか、収穫時期の早さをねらうかで整枝方法が違ってくる」との意見が聞かれました。

今後も、振興センターでは、栽培技術の向上を目指し、産地間の技術交流を積極的に支援します。

みんなあで技術を高めんと！～安芸ブロック青年農業士交流会～

炭酸ガスは吸わしたい時に効かさないと

1月 30 日、安芸ブロック青年農業士の交流会として、安芸市内のほ場で研修会が行われました。13 人の参加があり、ミョウガ、ナス、ピーマンのほ場を巡回しました。

部会等の勉強会では、園主に自分の栽培で上手くいかない点を相談したり、環境制御技術については、特に熱心に意見交換が行われました。

振興センターでは、青年農業士の仲間づくりや情報交換、勉強会等の活動を通じて、地域のリーダーになる人材を育成します。

「明日へ男女（とも）に手をたずさえてのつどい」を開催しました

環境制御技術について説明する
普及指導員

1月 30 日、安芸・室戸地区農村女性リーダーが田野町ふれあいセンターで農村女性の地域活動の活性化を目的に「つどい」を開催しました。

女性農業者や関係機関等の 92 名が参加し、「特産野菜料理試食」「環境制御技術」「男女共同参画入門」等のミニ講演会と農村女性リーダーの活動を報告しました。振興センターは「つどい」の運営支援と環境制御技術の説明を行いました。参加者からは「新技術に興味を持った」「女性の活動が素晴らしい」等の意見が出ました。

振興センターは、今後も農村女性リーダーの活動や経営・地域参画に向けた活動を支援します。

新しい技術に挑戦！「穴内集出荷場園芸研究会」の県内視察研修

ナスの平うね栽培に
関心を示す生産者

2月2日、JA土佐あき穴内集出荷場園芸研究会のナス、カラーピーマン、米ナス生産者17人が参加し、県農業技術センターでナス、パプリカの栽培試験状況について視察研修を行いました。

参加者は初めて見る「高軒高ハウス」や「平うね栽培」に驚くとともに、「平均温度」の考え方などを学ぶことができました。

振興センターはこの視察研修の企画調整を行い、視察研修後に行われた反省会では農業技術センターへ視察に行けなかった生産者のために写真を使って視察報告を行いました。

今後、振興センターでは光環境に応じた「平均温度」管理等について実践を呼び掛けていきます。

安芸集出荷場総合部会が開催されました！

熊本県のハウス設備に羨望の声！
高知も頑張るゾ！

2 月 4 日、安芸集出荷場園芸研究会総合部会が開催され、ナス類、ピーマン、シシトウ、ミョウガ生産者ら 52 人が参加しました。

振興センターは、環境制御技術に関する先進地(熊本・佐賀県、12 月 4～5 日調査)視察報告、ナス類における積算日射量に基づく日平均温度管理指標(案)の紹介等を行いました。参加者からは、先進地の環境制御技術の普及や高度なハウス設備に感嘆の声があがりました。また、「ピーマンでの温度管理指標も作成して欲しい」等の意見も出ました。

振興センターは、今後も引き続き現地ほ場でのデータ収集・解析を行い、環境制御による増収技術の確立と普及を推進します。

26年度稲WCS(稲発酵粗飼料)生産の反省を生かして27年度の取組強化

来年は稲WCSをどればあ作ろうか？

2月4日、安芸農業振興センター主催で稲WCS勉強会を開催しました。生産者及び畜産農家から12人、関係機関から6人が出席し、H26年度の反省とH27年度への取組方向を協議しました。

振興センターからは、H26年度の栽培上の課題と対応策について説明しました。また、収穫機械を効率よく使うためH27年度の栽培予定面積(7ha、15人)の聞き取りと収穫時期の調整を行いました。

今後、振興センターでは稲WCS勉強会を定期的に開催し、関心が高い生産者に稲WCSの普及拡大を図るよう支援していきます。

環境制御技術の普及でさらなる増収を！　～JA土佐あき芸西ピーマン部会～

炭酸ガスの施用について指導する普及指導員

2月12～13日に、振興センターは芸西村で環境制御技術導入加速化事業を活用したピーマンの生産者3人のほ場を巡回しました。

個々の炭酸ガス施用機の濃度設定の仕方や実測値、さらに光合成に必要なかん水量を確認し、指導を行いました。

生産者からは、「炭酸ガスの局所施用を検討する」、「かん水量の増加に気をつけたい」など技術向上に向けた意見が聞かれました。

振興センターは、次年度の事業利用による環境制御技術の拡大と導入後の生産者の増収を支援します。

赤野集出荷場女性部がナスの目慣らしと環境制御技術の勉強会を開催

栽培管理について講習する普及指導員

2月18日に安芸市の赤野集出荷場女性部17人が参加し、赤野集出荷場でナスの目慣らしと勉強会を行いました。

目慣らしでは様々な規格のナスを実際に見て、実需者がどのような品質のナスを求めているかを確認してもらいました。また勉強会では振興センターが3月以降の栽培管理、炭酸ガス施用効果や環境測定方法、環境制御技術導入加速化事業について講習を行い、環境制御技術への理解が深まりました。

振興センターは今後も環境制御技術やタイムリーな栽培管理等、生産者の所得向上に向けた支援を行います。

中芸地区お国自慢の会を開催しました

簡単にできそう、家でも作ってみよう！

2月18日、田野町ふれあいセンターで農家や県内の消費者120人が参加し、中芸地区農漁村女性グループ研究会が中芸地区の農産物を生かした料理のPRと消費拡大を目的に「中芸地区お国自慢の会」を開催しました。会ではナスやピーマン等の施設野菜を中心に地域の農産物を活用したお国自慢料理30品の試食や天敵等を紹介する出前授業を行いました。

JA土佐あき消費拡大委員会中芸支部と連携し、振興センターはお国自慢の会の運営や出前授業の取組を支援しました。

振興センターでは、今後も「高知家・まるごと東部博」等の機会を捉え、地域農産物のPRに対する支援を行います。

27 園芸年度も折り返し、目標達成に向けて経営改善ポイントを指導しました

現地ハウスで栽培状況の確認と技術指導をする普及指導員

振興センターでは、2 月 2 日～13 日に JA 土佐あき営農指導課と連携して、新規就農研修支援事業修了生等 10 名の営農定着に向け、27 園芸年度の中間確認の面談を行いました。

27 園芸年度開始前に立てた経営や栽培管理の目標、課題に対して、中間確認を行い、改善策をアドバイスしました。農家からは「環境制御装置の導入で収量増を目指す」「所得向上に向けて規模拡大を検討中」等、経営改善に向けた各々の取組の声が聞かれました。

振興センターでは、今後も関係機関と連携し、新規就農者の経営目標の達成に向けた支援を行います。